

## 前書き

メールや SNS で気軽にやりとりできる時代になり、日々だれもが発信しています。

こんなとき、どう言ったらいい？ ぴったりの言葉が出てこない……日々もどかしさを抱えているかもしれません。言葉は人と人をつなぐこともあれば、たった一言が誤解を与えるものになることもあります。

「より適切な言葉を選びたい」「等身大の表現を見つけたい」「伝えたい気持ちを素直にあらわす言葉が欲しい」——そんなときに役立ち、いつも手元に置いておきたくなるような「ことば探し」のための一冊があればと思い本書を企画いたしました。

日常生活に必要な基本的な言葉から、ちょっと気のきいた表現まで、おおよそ 3,500 項目を収録しています。簡潔な説明を添え、よくいっしょに使われる言葉とともに使用例も示しました。巻末には索引を付し、連想からさらに語彙が豊かになることを期しました。

本書があなたの相談役となり、言葉があなたの味方になりますように！

伝えたいことがあるすべての人に——  
さまざまな機会に皆さまのお役に立てば幸いです。

2022 年 10 月 三省堂編修所

# 目次

前書き	3	おおいき・ちいさい	46	しる・わかる	96	とまる・とめる・とどめる	142
この辞典の使い方	6	おくる・むかえる	48	しんじる	100	なおす・なおる	144
		おこる・しょうじる	50	すくう・たすける・ささえる	102	なれる・ならわす	146
		おしえる・みちびく	52		102	になう・つとめる	148
あいする・このむ	8	おどろく	54	すぐれる・ひいでる	104	ねがう	150
あう・わかれる	10	おもう・かんじる・かんがえる	56	すすめる・さそう	106	ねむる	152
あじ・あじわう・かぐ・におい	12		60	する・おこなう	108	のがれる・さける	154
		おわり・おわる	62	たえる・がまんする・ゆるす	110	はげます	156
あそび・あそぶ	14	かえる・かわる	64		110	はたらく	158
あたえる	16	かく・しるす	66	たたかう・きそう・あらそう	112	はなす(話す)	160
あたたかい・あつい・すずしい・さむい	18	かす・かりる・かえず	68		112	はやい・おそい	162
あたらしい・ふるい	20	かつ・まける	72	たのむ・まかせる・ゆずる	116	ふせぐ・まもる	164
あらためる	22	がんばる・ふるう	74		116	ほこる・たたえる	166
いう・とく・のべる	24	きく(聞く)	76	たべる・のむ	118	みる	168
いく・くる	28	きめる	80	ちがう・おなじ	120	もつ	172
いそぐ	30	くつろぐ・ひとやすみする	82	つかう	124	やめる・あきらめる	174
いつも	32	くらべる	84	つきあう	128	やる・もらう	176
いま・とき	34	くわしい・こまかい	86	つくる	130	よい	178
いましめる	36	こたえる	88	つたえる・しらせる・つげる	134	よぶ・まねく	180
いわい・いわう	38	ことわる	90		134	わるい	182
うしなう・なくす	40	こまる・なやむ	92	つどう・あつまる・あつめる	136		
うたがう	42	さかえる	94		136		
えらぶ	44	さがす・しらべる	96	つながる・つづく・つぐ	138	さくいん	184
		したがう	98	ととのえる・みだれる	140	参考情報	207

# この辞典の使い方

## この辞典に収録した言葉

79テーマ／約3,500項目

日本語で表現するために必要な、基本的な79のテーマを選定し、その類義語・類表現を取り上げました。

## 言葉の探し方

### ● 目次から探す

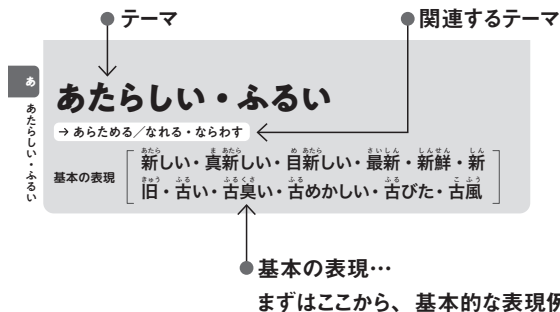
目次にはテーマ名を示しました。

### ● さくいんから探す

この辞典に掲載した言葉を五十音順に並べたさくいん(索引)を巻末(184ページ～206ページ)に付しました。

太字の数字は、その言葉をテーマとして取り上げているページを表しています。

## この辞典の見方



## ● 言い換え文例・漢字書き分け・敬語の使い方…

### 日本語での表現・発信に役立つ情報

#### 言い換え文例

「助けてもらう」 → 「(協力・応援・力添え)を仰ぐ」  
 「締切までに間に合わないので手伝って」 → 「期日までに終えられそうにないので(応援・協力・助けて)お願いします！」  
 「みんな助けてく」

#### 漢字書き分け

あたたかい	あつい
【温】冷たくない。	【熱】温度がとても高く感じられる。
「温かい料理」	「お茶が熱くて飲めない／熱い湯」
【暖】寒くない(主に気象や気温で使う)。	【暑】不快になるくらい気温が高い。
「日ごとに暖かくなる／暖かい日差し」	「今年の夏は暑い／暑い部屋」

## ● 配列…テーマごとの五十音順

## ● 表記…漢字でどう書くかを見出しに

## ● 解説…語義は簡潔に、補足情報は丁寧に

軽暖 せいなん 少しあたたかいこと。春先のあたたかさなどに使う。軽暖。【夏】  
 「一の空気」

見出しと別の表記や別の読みかたがある場合は、解説末尾に太字で示しました。また、季語になるものはその季節を示しました。

◆「救助」は命にかかわる危険な状態にある人、「救援」は災害など困難な状態にある人を助ける意。

補足的な情報には\*を、いくつかの項目に関係する情報には◆を付しました。

## ● 用例…使い方がわかる例を豊富に

慈愛 じあい 慈しみかわいがること。大切に思うこと。  
 「一が深い／一に(欠ける・富む・満ちる)／一の(まなざし・微笑み)」

一は見出し部分を表します。ここではこれだけの例をあげています。「慈愛が深い」「慈愛に欠ける」「慈愛に富む」「慈愛に満ちる」「慈愛のまなざし」「慈愛の微笑み」  
 用例内の太字は活用形を表します。

## ● その他の表現…さらに語彙を豊かに

# あいする・このむ

→ おしえる／しんじる／まもる

基本の表現

愛する・恋しい・恋する・気に入る・好む・好き・  
慈しむ・愛しい・恋い慕う・慕う・惚れる・愛でる

**愛顧** <sup>あいこ</sup> 引き立てること。  
「日頃のご感謝申し上げます  
／一を(賜る・いただく)」

**愛好** <sup>あいこう</sup> 好んで楽しむこと。

「(家・会・者)」

**愛情** <sup>あいじょう</sup> 愛しく思う気持ち。

「(表現・不足・豊か・たっぷり)  
／一が(こもる・わく・ない・薄くなる)  
／一に(あふれる・包まれる・変わる・  
飢える)／一を(感じる・育む・注ぐ)／  
深い一／(本物・本当・精一杯)の一」

**愛着** <sup>あいあやく</sup> 心が引かれ(て手放せなくな  
ること。あいじゃく。

「一が(わく・増す)／一を(持つ・感じ  
る・覚える)／一のある品」

**恩愛** <sup>おんあい</sup> 慈しむ気持ち。

「一を(断ち切る・忘れない)／  
一の人格者／一のきずな」

**求愛** <sup>きゅうあい</sup> 愛してくれるよう求めること。

「一行動／一を(受ける・退ける・  
逃れる)／熱烈な一」

**敬愛** <sup>けいあい</sup> 尊敬し、親しみの気持ちをも  
つこと。

「一する作家／一を(受ける)／一の念」

**懸想** <sup>けんそう</sup> 思いを懸けること。恋い慕うこ  
と。[古風]

「一文(=ラブレター)」

**好意** <sup>こうい</sup> 好ましく思う気持ち。親切な  
気持ち。

「一が(こもる・通じる)／一に(甘える・  
こたえる)／一を(持つ・いだけ・寄せ  
る・見せる)／一的」

**慈愛** <sup>じあい</sup> 慈しみかわいがること。大切に  
思うこと。

「一が深い／一に(欠ける・富む・満ち  
る)／一の(まなざし・微笑み)」

**嗜好** <sup>しこう</sup> 特に好むこと。

「一品／一が(偏る・変わる)／  
一を(欺く・持つ・寄せる)／一に(合う・  
反する)／一の変化・趣味一」

**執心** <sup>しゅうしん</sup> ある物事にひかれ、それにこ  
だわること。

「一を(訴える・示す・晴らす)／あの子  
に(ご一だ／金に一する)」

**情愛** <sup>じょうあい</sup> 深く愛する気持ち。

「一深い／一が(うまれる・通う・  
にじみ出る)／一を(感じる・こめる)  
／一のこもった」

**親愛** <sup>しんあい</sup> 親しみを感じていること。

「一なるあなたへ／一の(情・  
念)」

**仁愛** <sup>じんあい</sup> いつくしむこと。

「一を(説く)／一に(厚い・生きる・  
過ぐる)／一の人」

## 言い換え文例

「好き！」(作家への尊敬の念)

「好き！」(スイーツ大好き)

「好き！」(カメラ撮影が趣味)

「好き！」(前からずっと)

「好き！」(止められない気持ち)

→ 「この作者を敬愛しております」

→ 「甘いものには目がなくて……」

→ 「カメラを(愛好・熱愛)している」

→ 「以前から好意を寄せておりました」

→ 「熱い思いに胸を焦がしている」

**相思** <sup>そうし</sup> 互いに相手(を恋しく)思うこと。  
「一相愛／一の仲になる」

**寵愛** <sup>ちゅうあい</sup> 特別にかわいがること。

「一を(受ける・一身に集める)」

**追慕** <sup>ついぼ</sup> 亡くなった人や離れて会えな  
い人を思い慕うこと。

「一の(思い・情・念)」

**溺愛** <sup>できあい</sup> むやみにかわいがること。

「孫を一する／一ぶり」

**熱愛** <sup>ねつあい</sup> 熱烈に愛すること。

「ゴルフを一する／一報道」

**熱を上げる** <sup>ねつをあ</sup> 夢中になる。

「アイドルに一」

**博愛** <sup>はくあい</sup> 全ての人を平等に愛すること。

「一(主義・心)／一の精神」

**偏愛** <sup>へんあい</sup> 特定の人や物だけを愛するこ  
と。またその愛情。

「一するアイテム／一ぶりが伝わる」

**慕情** <sup>ぼじょう</sup> 恋い慕う気持ち。

「一がこみ上げる／一を(感じ  
取る・抱く)」

**身を焼く** <sup>みをやく</sup> 激しく思い悩む。身を  
焦がす。

「一ほどの愛／愛に一」

**胸を焦がす** <sup>むねをこ</sup> 思い悩む。  
「(切ない片思い・  
熱き思い)に一」

**目がない** <sup>めがない</sup> 夢中になり、判断力が  
失われるほど好きだ。

「(甘いもの・かわいいもの)に一」

**落花流水** <sup>らくかりゅうすい</sup> (散り落ちた花は流水  
に沿って流れた)と思  
い、流水は散った花をのせて流れた  
いと思う意から)互いに慕い合うこと  
のたとえ。[因]落花情あれども流水意  
なし

**恋愛** <sup>れんあい</sup> (互いに)恋い慕うこと。またそ  
の気持ち。

「一(感情・結婚・関係・小説)／一を(経  
験する・禁じる・見守る)／一に(憧れ  
る・臆病になる・悩む)／(純粋・ロマン  
ティック)な一」

**恋慕** <sup>れんぼ</sup> 恋しく思うこと。  
「横一／一の情／一が慕る」

## その他の表現

思いを寄せる・心を奪われる・  
心を惹かれる・虜になる・  
最真にする・身も心も捧  
げる・可愛がる・首ったけ・と  
きめく・ライク・ラブ・ロマンス・  
きゅんきゅん

## あう・わかれる

→つきあう／みる／やめる

基本の表現

会う・出会う・巡り会う・落ち合う・出くわす  
 離れる・分ける・分かれる・別れる・巣立つ

あう

一見 初めて会うこと。

一期一会 「一さんお断り／一の客」

一期一会 「一の(縁・精神・心)」

逢瀬 (恋人どうしが)会う機会。[古風]

御目見得 「一を(重ねる・交わす・拒む・楽しむ)／(束の間・一夜)の一」

御目見得 「一が叶う」

御目見得 「一が叶う」

御目見得 「一が叶う」

御目見得 「一を開く／一に臨む／歴史的な一／(記者・単独・引退・謝罪)一」

邂逅 「一を(思いがけず)出会うこと。」

邂逅 「旧友との一／一を(喜ぶ・驚く)」

邂逅 「旧友との一／一を(喜ぶ・驚く)」

奇遇 「こんな所で会うとは一だ」

警戒に接する 尊敬する人に

警戒に接する 直接会って話

警戒に接する 直接会って話

警戒に接する 直接会って話

警戒に接する 直接会って話

警戒に接する 直接会って話

警戒に接する 直接会って話

警戒に接する 直接会って話

警戒に接する 直接会って話

警戒に接する 直接会って話

遭遇 不意に出会うこと。

遭遇 「(アクシデント・敵・困難・危険・事故・問題)に一する／未知との一」

対面 顔と顔を合わせること。

対面 「初／一／(販売・授業)／離れていた親子が一する／一で話す」

直面 じかに接すること。

直面 「(困難・危機・死)に一する」

拝顔 お目にかかること。[謙譲語]

拝顔 「一の栄に浴する」

拝顔 「一の栄に浴する」

拝顔 「一の栄に浴する」

拝顔 「一の栄に浴する」

逢着 「(難問・奇妙な現象)に一する」

面会 訪ねて行って、人と会うこと。

面会 「一を(求める・申し込む・拒絶する)／一に(行く・応じる・来る)／一

面会 「一を(求める・申し込む・拒絶する)／一に(行く・応じる・来る)／一

面会 「一を(求める・申し込む・拒絶する)／一に(行く・応じる・来る)／一

面会 「一を(求める・申し込む・拒絶する)／一に(行く・応じる・来る)／一

面接 「一を受ける／一に臨む／一(官・試験・室)／(集団・個別)一」

面接 「一を受ける／一に臨む／一(官・試験・室)／(集団・個別)一」

面接 「一を受ける／一に臨む／一(官・試験・室)／(集団・個別)一」

面と向かう 相手に直接顔を合

面と向かう 相手に直接顔を合

面と向かう 相手に直接顔を合

面と向かう 相手に直接顔を合

面と向かう 相手に直接顔を合

漢字書き分け

あう

【会】主に人と人が顔を合わせる。

「客と会う時刻／人に会いに行く／投票に立ち会う／二人が出会った場所」

【合】一致する。調和する。互いにする。

「意見が合う／目が合う／好みに合う／部屋に合った家具／会議で話し合う」

【遭】思わぬことや好ましくない出来事に出くわす。

「災難に遭う／にわか雨に遭う」

わかれる

縁が切れる 関係がなくなる。「家族と一」

隔離 「患者を一する／世間から一した場所／(病棟・施設・措置)」

決別 「(過去・友人・派閥)と一する／一を告げる／青春との一」

決別 「(過去・友人・派閥)と一する／一を告げる／青春との一」

決別 「(過去・友人・派閥)と一する／一を告げる／青春との一」

決別 「(過去・友人・派閥)と一する／一を告げる／青春との一」

決別 「(過去・友人・派閥)と一する／一を告げる／青春との一」

決別 「(過去・友人・派閥)と一する／一を告げる／青春との一」

決別 「(過去・友人・派閥)と一する／一を告げる／青春との一」

決別 「(過去・友人・派閥)と一する／一を告げる／青春との一」

四散 四方にばらばらになること。

絶交 「友達と一する／お前とは一だ」

袂を分かť (仲違いなどで)関係

袂を分かť (仲違いなどで)関係

袂を分かť (仲違いなどで)関係

袂を分かť (仲違いなどで)関係

手を切る 「(よくない)関係を絶つ。」

暖簾を分ける 長くつとめた

暖簾を分ける 長くつとめた

暖簾を分ける 長くつとめた

暖簾を分ける 長くつとめた

暖簾を分ける 長くつとめた

暖簾を分ける 長くつとめた

暖簾を分ける 長くつとめた

暖簾を分ける 長くつとめた

「(勢力・人口)が一する／(リスク・産業)を一させる／光の一」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

【断】「(一つのを)分けること。」

その他の表現

お目に掛かる・顔を合わせる・  
 ぱったり  
 さよならする・おさらばする

## あじ・あじわう・かぐ・におい

→ たべる・のむ／ほこる・たたえる

基本の表現

味・かおり・におい  
あじわう・喫する・喫ぐ・におう

## あじ・あじわう

**顎が落ちる** 味が非常によいことのとたとえ。

「一はどうまい／おいしくて顎が落ちそうだ」

**味見** 味の加減をみること。  
「(スープ・煮物・料理)の—/料理を一する／一口—してきて」

**味を利く** 味のよしあしをみきわめる。味を聞く。

「(酒・ワイン)の—」

**玩味** 十分に味わうこと。翫味。  
「舌で一する／(くまなく・じっくり)一する／熟読—」

**含味** 口に含んでよく味わうこと。  
「もう一度—してみる」

**舌が肥える** おいしいものを食べ慣れて、味のよあしがわかる。口が肥えるとも。

「どんどん—」

**舌鼓を打つ** おいしさに舌を鳴らす。

「海の幸に—」

**舌に残る** 後味がする。麴舌に付く

「(脂のしつこさ・うまみ・甘さ)が一／一味わい」

おいしいを楽しむこと。賞翫。

**賞玩** 「(珍珠・骨董品)を一する」

**賞味** 味わいを楽しむこと。

「手料理を一する／思う存分一する／どうぞ一ください／一期限」  
**咀嚼** 食べ物をよくかみ砕くこと。よかんてで味わうこと。転じて言葉や文章などの意味をよく考えて十分に理解し味わうこと。

「消化しやすいよう一する／彼の言葉を一する／(運動・筋・筋)一玩味」

**毒見** (毒が入っていないか確かめるため)味見すること。

**反芻** 一度のみこんだものを口に戻してかむこと。転じて、繰り返して考え、よく味わうこと。

「牛が一する／一動物／(師の言葉・思い出・美しい日々・歌)を一する」

**味覚** 味を感じる感覚。  
「一をそそる／一に合う／一が一致する／秋の一／一障害」

## 味にも香りにも

**佳味** よい味。よい味の食べ物。よい趣。嘉味。

**香味** 香りと味わい。

「一野菜(=料理に風味を加えるため

## 言い換え文例

「ちょっと一口(食べてみて)」

「ちょっと一口(食べてみる)」

「体によさそうな味だな」

「すごくいい香り！」

「なにか臭う」

⇒ 「まずは一口ご賞味ください」

⇒ 「一つ味を利いてみましょう」

⇒ 「(滋味に富む・滋味深い)味ですね」

⇒ 「芳醇な香りが漂っている」

⇒ 「嗅覚を刺激するものがある」

調理に用いる野菜類」

**五味** 甘い・辛い・酸っぱい・苦い・塩辛い5種の味。

「一が程よく調和した味」

**滋味** 深い味わい。栄養のある食べ物。

「一に富む料理／一深い」

**風味** (趣のある)香りや味わい。  
「独特の一がある／一が(生きる・落ちる)／一を(つける・損なう)／カレー—」

ほうじ茶の香りが高く味がいい。芳醇。

**芳純** 「一な(ワイン・味わい・香り)」

## かおり・におい・かぐ

**嗅覚** においを感じる感覚。臭覚。  
「一が(鋭い・働く・すぐれて)いる・敏感になる)／一を(奪う・駆逐する・刺激する・とらえる)／一に訴える」

**香氣** よいかおり。  
「甘い—を放つ花／一に(包まれる・満ちる)／一を漂わせる」

**香を聞く** 香をたいて、そのにおいをかぐ。

しゅうきいやなにおい。

**臭気** 「一が(鼻をつく・こもる・立ちこめる)／一を(放つ・避ける)／(不快な・

強烈な・生臭い)一」

**臭味** 「一が強い／一を感じる」

**鼻に付く** (いやな)においが感じられて、残る。

**鼻を突く** 嗅覚を強く刺激する。鼻を打つ。鼻を衝く。

**馥郁** よい香りがただよう様子。  
「一たる香／一とした香り／花が一と香る庭」

**芬々** においが強く感じられる様子。  
「一たる(香り・悪臭)」

**芳香** 「一劑／一を放つ／一が充滿する／甘ったるい—」

**芳烈** 香りが強いこと。  
「一な(香り・匂い)」

**余香** あとに残ったいい香り。残り香。

## その他の表現

舌を刺す・つんとする・テイスト・テイस्टینگ・フレーバー・もぐもぐ・くんくん・ひくひく・ふんふん・むんむん

## あそび・あそぶ

→くつろぐ・ひとやすみする

基本の表現 **遊ぶ・楽しむ・ふざける・戯れる・興じる**

## あそぶ

**命の洗濯** 日頃の苦勞を忘れて保養すること。

「一にと、のんびり旅に出る」

**回遊** ちあちこちを見て回ること。廻遊。「一(券・式庭園)」**外遊** 外国に旅行すること。「アジア諸国を一する／一先」**快樂** 気持ちよく楽しいこと。「一を(求める・味わう)／一に(溺れる・浸る・ふける・身を任せる)／つかの間の一／一時的な一」**観光** 景色や風物、史跡などを見物すること。

「各地を一して回る／一(客・案内・名所・地・スポット・シーズン・パス)」

**歡樂** よろこび楽しむこと。「一に(溺れる・酔う)／一街」**気晴らし** 憂鬱な気分を晴らすこと。翫気散じ

「一に出かける・散歩する・遊ぶ)／ほんのつもり」

**旧遊** かつてその地に訪れたことがあること。翫曾遊

「一の地」

**興** おもしろいこと。おもしろみ。「一に乗る(=おもしろさに任せてする)

／一に入る(=おもしろがる)／一がさめる／一を添える」

**享樂** 快樂を味わうこと。「(人生・青春・自由)を一する／一を(貪る・ほしいままにする)／一にふける／一的」**豪遊** 大金を使って、ぜいたくに遊ぶこと。

「料亭で一する／一を重ねる」

**行樂** 旅行などをして楽しむこと。「一(日和・客・シーズン)／一の秋／一に出かける／一を満喫する」**娯樂** 「一(施設・設備・室・映画・雑誌・番組)／大衆一／一に(飢える・興じる・ふける)」**座興** その場かぎりの戯れ。「ほんのつもりで」**児童** 子どもの遊び。\*

\*「子どもの遊びのようなもの」

で価値に乏しい」という意味で「一に(等しい・類する)」と使われる。

**酒色** 飲酒と色事。「一に溺れる／一を断つ」**趣味** 楽しみとして愛好するもの。「一を(生かす・楽しむ・深める・持つ)／一と実益を兼ねる／一に(生

きる・のめり込む・溺れる)／一の豊富な一(読書・料理・仕事)が一／知的な一」

**巡遊** 各地をめぐりまわること。「欧米を一する／一(記・録)」**清遊** ①風流な遊びをすること。②手紙などで相手の遊びや旅行を敬つていう言葉。

「ご一をお待ちしております」

**団樂** (「団」も「樂」もまるい意)親しい者同士が集まって楽しくすごすこと。

「一家一／和やかな一／一の(時間・場)／一を楽しむ」

**道樂** 趣味として楽しむこと。「一が(高じる・すぎる)／(食いち)一／金持ちの一」**漫遊** 気の向くままに各地を放す。「諸国一／一記」**遊技** 娯樂としておこなう勝負事。「一(場・設備)」**遊戯** 遊びたわむれる。「一を(覚える・楽しむ)／一に(熱中する・ふける)／言葉の一／お一(室・場・施設)」**遊興** 遊び興じること。「一にふける／一を(禁じる・重ねる)／一(費・税)」**遊樂** 遊び楽しむこと。ゆらく。「一の旅／一を覚える」**遊覧** 見物してまわること。「空中一を楽しむ／一(飛行・船・バス・客)」**遊歴** 各地をめぐり歩くこと。「諸国を一する／地方一」**遊山** (野山に)遊びに行くこと。「物見一」**来遊** 来て遊ぶこと。「日本に一する／一期間」

## もてあそぶ

**玩具にする** もてあそぶ。\*「おもちゃ」は

「持ち遊び」から。手にもって遊ぶ。いじくる。

**弄ぶ** (人の気持ち・政治・若さ)を一／運命に弄ばれる」

## その他の表現

レジャー・レクリエーション・アミューズメント・エンターテインメント



# あたえる

→ おくる・むかえる／かす・かりる・かえす／やる・もらう

基本の表現

与える・渡す・授ける・差し上げる・  
差し出す・恵む・もたらす

**恩賜** おんし 天皇や主君から授かること。

「(公園・庭園・林・賞)

**下賜** かし (天皇・皇族など)身分の高い人

がくださること。

「(天皇・皇后・皇帝)より一を受ける／

(勲章・贈り物)を一する」

**下付** かふ 役所から渡すこと。

「一金／(免許・土地・金)を一す

る」

**喜捨** きしや 進んで寺などに寄付すること。

「一を(仰ぐ・与える・乞う)／(お

金・財産)を一する」

**寄贈** きぞう 品物を贈ること。「きそう」とも。

「(蔵書・銅像・苗木)を一する／

一を(託す・申し出る)／一(者・本)」

**給付** きゅうふ 物品を支給したり便宜をはかっ

たりすること。

「一金／(年金・保険金・補助金)を一

する」

**供与** きゅうよ 物や利益などを提供すること。

「(技術・金銭・便宜)を一する／

一を(依頼する・受ける)」

**謹呈** きんてい つつしんで差し上げること。

「(お世話になった人・目上の人)

に一する／著者一」

**惠送** けいそう 物を送ってもらったことを敬つ

て言う語。

「ご一いただく」

**献上** けんじょう 身分の高い人に物を差し上げ

ること。

「一(品・物)／(酒・特産の品)を一する」

**交付** こうふ 役所などが(手続きをふませて)

渡すこと。

「(住民票・許可証・年金・補助金)を一

する／一を(受ける・申請する)／一

(金・税)」

**互恵** ごけい たがいに恩恵や利益などを与

え合うこと。

「一(性・主義・関係・関税)」

**支給** しきゅう 金銭や物品などを渡すこと。

「(給与・生活費・手当・年金・ポー

ナス)を一する／一を(受ける・辞退す

る・待つ)」

**授与** じゅよ さずけあたえること。

「一(式・品)／(学位・賞・卒業証

書・文化勲章・褒章)を一する」

**譲渡** じょうど 財産や権利などをゆずりわた

すこと。

「(権利・財産・持ち株・持ち分)を一

する／一を(受ける・制限する)」

**所与** しょよ あたえられていることやもの。

「一の(意味・事柄・条件・前提)」

**進上** しんじょう 品物を差し上げること。

「一(品・人・物)」

## 言い換え文例

「100ポイントをプレゼント！」

「100ポイントでプレゼント！」

「先生に著書をプレゼントします」

「チャンスがありがとう」

⇒ 「100ポイントを付与します」

⇒ 「100ポイントで記念品を進呈します」

⇒ 「先生に拙著を謹呈いたします」

⇒ 「このような機会を与えていただいたことに感謝しております」

**進呈** しんてい 品物を贈ること。

「(粗品・薄謝・記念品)を一する」

**送呈** そうてい 物を送って差し上げること。

「資料を一いたします」

**贈呈** そうてい (公の場などで)人に物を贈る

こと。

「(記念品・色紙・賞金・花束・本)を一す

る／一式」

**贈与** そうよ 金品を贈り与えること。

「一(税・契約)／一を受ける／

(子・孫)に(財産・土地)を一する」

**貸与** たいよ 貸すこと。

「一(制度・権・契約・申請・金)／

一を(受ける・許可する)／(金品・制服・

奨学金)を一する」

**提供** ていきょう 自分のものを他人に差し出す

こと。

「一を(受ける・求める・拒む・行う)／

(衣装・サービス・資金・自宅・情報・楽

しみ・知識)を一する」

**天与** てんよ 天から与えられたもの。

「一の(才能・才・美貌・生・恵み)」

**投与** とうよ 薬を患者に与えること。

「(薬剤師・過剰・経口)／一(薬・カ

フェイン)を一する／」

**付与** ぶよ 名誉や権限などを与えること。

「一を(求める・拒む・受ける)／

(権利・ポイント・責任)を一する」

**賦与** ふよ (神などが)与えること。

「(価値・才能・人格)を一する／

天から一される」

**分与** ぶんよ 分け与えること。

「(権利・財産)を一する／一を

(認める・求める)」

**与奪** よだつ 与えることと奪うこと。

「生殺(一)の権(一殺すか生かすか、

物を奪うか与えるか、相手の命運を思うま

まにする力)」

## その他の表現

お裾分け・振る舞う・握らせる・ねじ込む・ばらまく・ギブ・サプライ・サーブ・スポンサー・プレゼント





# あたらしい・ふるい

→ あらためる／なれる・ならわす

基本の表現

新しい	真新しい	目新しい	最新	新鮮	新
旧	古い	古臭い	古めかしい	古びた	古風

新しい

いまよう 現代ふう。

**今様** 「一の(建築様式・歌・遊び)」

かくしん 改めて新しくする。

**革新** 「一的／一が(起こる・生じる・進む)／一を(図る・もたらす)／技術一」

くうぜん これまでに例のないこと。

**空前** 「一の(売れ行き・規模・勝利・大恐慌)／一絶後の(快挙・記録・発明)」

さいぜんたん 最も進んだ新しい部分。

**最先端** 「一の(医療・技術・研究)／(時代・流行)の一」

ざんしん きわだって新しいさま。

**斬新** 「一な(アイデア・感覚・趣向・配色・試み・考え・演出・切り口)」

しんえい (新進気鋭から)新しく出てきて

**新鋭** すぐれている人やもの。

「一(作家・監督)／一の(機材・システム)／一が(登場する)／(ゴルフ界・画壇)の一」

しんき 新しくめずらしいさま。

**新奇** 「一な(アイデア・着想・世界・作風・商品・技術)／一を追う」

しんき 新しいこと。

**新規** 「一に(契約する・参入する)／一で(購入する)／一の(計画・会員・契約)／一(事業・ファイル・作成)」

しんきじく 新しい方法。

**新機軸** 「一を(打ち出す・取り入れる・開く)」

\*「機軸」は車軸のこと。転じて物事の大事なところ、しくみ・方法の意。

しんしき 新しい形式。因旧式

**新式** 「一の(考え方・機械・設備)」

しんしん 新しく出てきた人(こと)。

**新進** 「一の(演出家・画家・科学者・企業)／一気鋭」

しんせんみ 今までとちがった新しさ。

**新鮮味** 「一を(感じる・失う)／一に欠ける／一が(乏しい・薄い)」

しんふう 新しい風潮・やり方。

**新風** 「一が(巻き起こる)／一を(送り込む)／もたらす・吹き込む」

しんまい ①新しい米。

**新米** ②まだ慣れていない(未熟な)人。

「一の(カメラマン・アナウンサー)／一教師」

しんみ 今までになかった新しい感じ。

**新味** あたらしみ。  
「一を(出す・盛る)／一に乏しい／一がない小説／一のある企画」

しんらい 新しく来た人やこと・もの。

**新来** 「一の(客・文化・トラック)」

せいしん 生き生きとして新しいさま。

**生新** 「一な(文化)／一の(気)」

せいしん あたらしくさわやかなさま。

**清新** 「一な(文体)／一に欠ける」

ぜんえい (芸術などで)時代に先駆

**前衛的** けていること。  
「一な(ダンス・バンド・作品・実験)」

せんく 他よりさがかけていること。

**先駆的** 「一な(作品・理論・試み)／一に取り入れる」

ぜんたい 今まで聞いたことがな

**前代未聞** いこと。

「一の(事件・規模・出来事)」

モダン 現代的であること。

**モダン** 「一な(外見・感覚・建物・趣味)／一(ジャズ・ダンス・アート)」

古い

**旧式** 古い形式。古くさいこと。因  
新式

「一(な)の(考え・やり方・車・人間)」

きゅうたいいぜん 昔のままで進展のない

**旧態依然** さま。  
「一たる(政治・考え)／一とした(システム・制度・仕事・手法)」

けいねん 年月を経ること。

**経年** 「一による(劣化・老朽化)／一変化」

げんしき 自然のままで進歩していない

**原始的** い様子。  
「一な(発想・やり方・教え)」

こが 古風で優雅なこと。

**古雅** 「一な(建築・歌・町)」

こさん 古くからその職にあること・人。

**古参** 「一を(し)の(ぐ)／一の(職員)」

こしき 昔からの方式。

**古式** 「一な(舞台・印象・デザイン)／一に則る／一ゆかしの」

こしよく 古風なおもむき。

**古色** 「一を帯びる／一蒼然」

じだい 古い時代の感じが

**時代がかかる** する。

「時代がかった(建物・表現)」

ちゅうこ (一度使われて)すこし古いこ

**中古** と。  
「一を買う／一で(買う・売る・間に合わせる)／一の(家具・車)」

ねんたいもの 年月を経(る)ことで価値が

**年代物** 出たもの。  
「一の(ワイン・ジーンズ・家具・チーズ・絵画)」

ほしゅてき 古い制度や習慣を守ろうと

**保守的** するようす。  
「一な(思想・政治家・人間・考え方)／一に考える」

その他の表現

現代的・当風・フレッシュ・  
ニュー・プランニュー・ネオ・  
ホット・アバンギャルド・ぴち  
ぴち・ほやほや

温故知新  
時代遅れ・手垢が付く・徴  
が生える・骨董詰り・年季の入  
った・歴史的・古き良き時代・  
ベテラン・オールド・ビンテー  
ジ・アンティーク・クラシック・  
レトロ・よれよれ・がたがた

# あらためる

→ いましめる／かえる・かわる／なおす・なおる／やめる・あきらめる

基本の表現 **改める・立て直す・出直す・修正する**

**維新** すべてが新しくなること。  
「一が成る／一で没落する」

\*「維新たなり」の意。

**一新** すべてを新しくすること。新しくなること。

「(気分・人身)の一を図る／(考え方・生活・コンセプト)を一する」

**改悪** 物事をあらためて、結果的に悪くなること。

「一を(阻止する・進める・強行する・支持する・許す)／(制度・憲法・法律・医療)を一する」

**改革** あらためること。

「一が(進む・必要となる・失速する・後退する)／一を(図る・実現する)／一は(待たなし・道半ば)／一に着手する／(教育・組織・制度)を一する／一案を進言する」

\*「改」も「革」もあらためる意。

**改竄** 文字を書き換えること。

「一を(疑う・見つける・もちかける)／一に関与する／(記録・業績・書類・データ・文章)を一する」

\*「竄」は文字を変える意。おもに悪用する意味で使われる。

**改修** 悪いところに手を入れ、つくりなおすこと。

「一を(実施する・中止する)／(河川・設備・道路・橋・コース)を一する／一(計画・工事・費用)」

**改心** 心をあらためること。

「一を(促す・誓う・願う・求める)／一の見込みがない／(やっと・すっかり)一する」

**改新** 制度をあらためること。

「大化の一」

**改善** よくなる(ようにする)こと。

「一が(進む・遅れる・望む)／一に(貢献する・努める・役立つ)／(関係・事態・体質)が一する／(環境・制度・現状・財政・生活)を一する」

**改定** あらためて定めること。

「一を促す／(大幅・小刻み)な一／(運賃・基準・憲法・税率・報酬・法律・料金・給与)を一する」

**改訂** (書物の内容などを)あらため直すこと。

「一を加える／(ガイドライン・辞書)を一する／一版」

**改変** 物事をあらためること。

「一を(指示する・受け入れる)／(意識・システム・制度)を一する／根本から一する」

**改編** 編成・編集をやり直すこと。

「(大幅・小規模)な一／(組織・番組)を一する／一を(図る・加える・実施する・重ねる)」

**改良** よくなるようにする。

「一が進む／一を(加える・実現する・図る・要請する)／一に努める／一の余地がある／(アイデア・仕掛け・設備・製品・土壌)を一する」

◆「改善」は抽象的なものに、「改良」は具体的なものに使う傾向がある。

**革新** あらためて新しくすること。

「一を(実践する・促進する・助長する・成し遂げる)／技術一／一的なアプローチ」

**革命** 根本的に変革すること。

「一が(起こる・成就する・失敗する・勃発する)／一を(起こす・指導する・もたらす)／一にあこがれる／一の(嵐・前夜)／(世界・技術・社会)を一する」

**更改** 制度や契約などをあらためること。

「(契約・設備)を一する／一交渉」

**更新** 新しいものにあらためること。

「あらたまること。  
「(記録・契約・最高益・最安値・免許・旅券)を一する」

**更正** あらためて正しくすること。

「(税額・予算)を一する」  
**刷新** (悪いところを除いて)新しくすること。

「(体制・経営陣・人事)を一する」

**是正** よくないところをなおして正しくすること。

「格差の一をめざす／一に取り組み／(考え・偏り・年齢バランス・不平等)を一する」

**訂正** 誤りを直すこと。

「一を(繰り返す・加える・申し入れる)／(言い間違い・情報・記録・誤字・言葉・金額・名簿)を一する」

**変改** 変え改めること。

「一を加える／(言葉・制度)を一する」

**変革** 物事が変わり改まること。変え改めること。

「一が進行する／一を(促す・遂行する・なしとげる・望む・もたらす)／(システム・社会)を一する／一期をむかえる」

**補正** 足りないところを補ってただすこと。

「一を求める／(大型の・小幅な・わずかな)一／(誤差・予算)を一する」

## その他の表現

朝令暮改・君子は豹変す・襟を正す・禪を締め直す・ねじを締める・足を洗う・頭を冷やす・心を入れ替える・気持ちを新たにす・手を入れる・まき直し・レボリューション・イノベーション・バージョンアップ・リニューアル・シフト

## いう・とく・のべる

→ かく・しるす／まく／聞く／つたえる・しらせる・つげる／はなす(話す)

基本の表現

いう・説く・述べる・黙る・喋る・申す・おっしゃる・  
発言する・説明する・宣言する・主張する

## いう・とく・のべる

**一言** いちごん ひとこと。ひとこと言うこと。  
「あえて一すれば／一も述べない」

**一言一句** いちごんいっく 一つひとつの言葉。  
「一もおろそかにしない／一に耳を傾ける」

**云々** うんぬん あれこれ口に出すこと。  
「今さら一しても遅い」

**演説** えんぜつ 大勢の前で自分の意見を述べること。

「一(会・口調)／街頭一」  
**開口一番** かいこういちばん 口を開いて真っ先に。  
「一、元氣かと尋ねる」

**解説** かいせつ わかりやすく説明すること。また、その説明。

「一(を(求める・頼む)／一(者・ページ・放送)」

**開陳** かいちん 自分の意見などを人前で発表すること。

「自己の(意見・見解・所信・信念)を一する」

**確言** かくげん はっきり言うこと。  
「一(を得る・避ける)／一に基づく」

**甘言** かんげん 口先だけのうまい言葉。  
「一(を(重ねる・弄する)／一に

(釣られる・乗る・負ける・惑わされる)」  
**換言** かんげん 同じことを別の言葉で表すこと。

「一すれば／単なる一にすぎない／…であるとしてできる」

**諫言** かんげん (目上の人に)忠告すること。  
「一(を(聞き入れる・申し上げる)／上司に一する)」

**既述** きじゆつ (文章で)既に述べてあること。  
類上 上述・前述

**供述** きようじゆつ 被告人・証人などが事実に関して述べること。

「一(が得られる)／一調書」

**極言** きよくげん 極端な言いかたをすること。  
「一切が自己責任だと一する」

**口車に乗せる** くちぐるまの うまいことを言ってごまかす。

「口車に乗せられて、本心を打ち明けてしまった」

**口火を切る** くちび 最初に話し始める。

**口を利く** くち 言う。話をする。  
「(生意気・乱暴)な一／あの一(件)から一切口を利いてもらえなくなった／心安く一仲」

## 敬語の使い方

仰せになる…「言う」の尊敬語

仰せられる…「言う」の尊敬語

仰る…「言う」の尊敬語

「先生のおっしゃるとおりです／そうおっしゃらずにどうかお願いいたします」

申し上げる…「言う」の謙譲語

「私の思うところを申し上げます／日頃のご愛顧に感謝を申し上げます」

申す…「言う」の謙譲語

「お礼の申しようもございません」

**口を出す** くちだ (でしゃばって)話に入る。

「(横から・老婆心から・無遠慮に)一」

**口を挟む** くちはさ 割り込んで話に入る。  
「(脇から・遠慮がちに・あれこれと)一／一言も口を挟まずに聴く」

**口を開く** くちひらく 話し始める。  
「(おもむろに・重い力なく)一／口を開けば文句ばかり」

**口を割る** くちわ 白状する。  
「容疑者が一／ようやく一」

**言及** げんきゅう その話題に触れること。  
「(過去の例・問題点)に一する／直接一する／簡単一にとどめる」

**言明** げんめい はっきり言うこと。  
「一を(避ける)／正式に一がなされた」

**口外** くちがい 他人に話すこと。  
「一を(禁ずる)／(秘密・弱み)を一する／一(無用・禁止)」

**公言** こうげん 人前で言うこと。  
「信念を一する／常々一している／一してはばからない」

**広言** こうげん 大げさに言うこと。  
「一(を(吐く・笑いものにする)／

一してはばからない」

**巧言** こうげん 口先だけの言葉。  
「一を(ならべる・用いる・弄する)／一(令色)／一(屈する・乗る)」

**抗言** こうげん 相手に逆らって言うこと。  
「一しても無益だ」

**高言** こうげん えらそうに言うこと。  
「一を(吐く)／一することなかれ」

**豪語** こうご 自信たっぷりと言うこと。  
「(必ず勝つ・天下無敵)と一する／意気揚々一する」

**口述** こうじゆつ 口頭で述べること。  
「一(記録・試験・筆記・録)」

**言葉を尽くす** ことばを 知っている限りの言葉を用いて表現する。

「言葉を尽くして(愛を伝える・説得する)」

**細説** さいせつ くわしく説明すること。  
「教授の一に(耳を傾ける)」

**舌が回る** したまわ (つかえずに)よくしゃべる。

「よくそこまで一ものだ」

**失言** しつげん 言ってはいけないことをうっかり言うこと。

「一(が(多い・たたる・相次ぐ)／一(を(埋め合わせる・繰り返す))」

**述懐** じゆっかい 心の中の思いを述べること。  
「しみじみとした一／往時を一する」

**詳述** しやうじゆつ くわしく述べること。  
「(趣旨・事情・方法)を一する／一するまでもない／一を(避ける・省く・求める)」

**詳説** しやうせつ くわしく説明すること。  
「後に一する／細部にわたって一する」

**饒舌** じやうぜつ おしゃべり。  
「一文文章／一をふるう／一に過ぎる」

**所述** しよじゆつ 述べてある事柄。  
「本書の一によれば」

**叙述** じよじゆつ 順を追って述べること。  
「ありのままに一する／事細かに一する」

**雑言** ぞうごん いろいろな悪口。  
「(罵詈雑言)一／一を浴びせる」

**大言** たいごん おおげさに言うこと。  
「一を吐く／一壮語を(ぶちかます・弄する)」

**多言** たごん 口数が多いこと。  
「一を(費やす・慎む・要しない)」

**他言** たごん 他人に話すこと。  
「一無用／一を戒める／決して一してはならない話」

**啖呵を切る** たんか (胸がすくような) 歯切れのよい言葉で勢よくまくしたてる。  
「威勢のいい一」

**断言** だんげん 言い切ること。  
「一はできない／(即座に)きつ

ぱりと・自信たっぷり)一する／一してはばからない／一的に言う」

**直言** ちやくげん 遠慮せずに言うこと。  
「(上司・上役)に一する／(あえて・遠慮なく)一する」

**陳述** ちんじゆつ 口頭で意見などを述べること。  
「一書／一を(退ける・取り消す・なす)／虚偽の一」

**痛言** つうげん 手きびしく言うこと。  
「一を浴びる」

**独言** どくげん ひとりごと。【**圈独語**】  
「一のように呷く」

**毒舌** どくぜつ 手きびしい悪口を言うこと。  
「一を(浴びせかける・聞き流す・吐く・ふるう)／一家」

**独白** どくはく (劇や小説などで)ひとりごとを言うこと。  
「長い一／苦しい胸の内を一する」

**吐露** とろ 考えていることを隠さずに言うこと。  
「(内なる・激しい)感情の一／(胸中・思い・内心)を一する」

**白状** はくじやう 隠していたことを打ち明けること。  
「ついに一した／(秘密・目論見)を一する／(潔く・全部)一する」

**吹聴** ふいちやう 言いふらすこと。  
「(知識・手柄)を一する／(大袈裟・得意気)に一する／一して歩く」

**付言** つげん 一を要しなくて言うこと。  
「一を要しない／さらは一しておきたい／終わりに一すれば」

**弁が立つ** べんた しゃべるのがうまい。  
「彼は一のでかなわない」

**弁舌** べんぜつ 言いかた。話しぶり。  
「一を振るう／一に(長ける・釣られる)／一(さわやか・巧み・華麗)」

**放言** ほうげん 勝手なことを言うこと。  
「一が(続く・目立つ)／(不粋・無責任)な一／(悔しまざれ・手当たり次第)の一／一癖」

**暴言** ぼうげん 乱暴な言葉。  
「一を(浴びせる・吐く・ぼざく・詫げる)／一に(たまりかねる・憤慨する)／(酔余の一／突飛一)」

**明言** めいげん はっきり言うこと。  
「一を避ける／本人が一する／責任を持って一する／賛否を一しない」

**妄言** もうげん でたらめな言葉。  
「一多謝／一を(繰り返す・慎む・吐く)／一につきあいきれない」

**約言** やくげん 短くして言うこと。  
「趣旨を一すればこういうことだ／よって、次のように一できる」

**遺言** いごん 死後のために言い残すこと。  
「一(状・書)／一を聞く／一に(従う・背く)／親の一」

**予言** よげん 未来を予測して言う言葉。  
「一が(当たる・的中する)／一を(試みる・待つ・求める)／(死・終焉・終末・将来)を一する／一者」

**力説** りきせつ 力をこめて主張すること。  
「(計画・効果・必要性)を一する／(真剣な口ぶり・熱っぽい調子)で一する」

**略述** りやくじゆつ 要点だけを述べること。  
「(経緯・作り方)を一する」

**屢述** るじゆつ 繰り返して述べること。【**圈屢説**】  
「すでに一した通り／一するまでもない」

**縷説** るぜつ こまごまと説明すること。【**圈縷言**】  
「長々と一する／一に及ばぬ」

**論及** ろんきやう 触れて論じること。  
「細部にわたり一する／(芸術・論・諸問題・提案の不備)に一する」

**論述** ろんじゆつ 論じ述べること。  
「一(試験・問題)／一を進める／(事実・正しさ)一する／(具体例・資料を用いて)一する」

#### だまる

**暗黙** あんもく 黙って何も言わないこと。  
「一の了解／一のうちに決まる」

**箝口** かんこう 発言させないこと。  
「一令を敷く」

**緘黙** かんもく だまっていること。  
「一して語らず」

**絶句** ぜつく 言葉に詰まって言えないこと。  
「あまりのひどさに一する」

**沈黙** ちんもく だまりこむこと。  
「一を(守る・破る)」

#### その他の表現

口にする・口に出す・スピーチ・べらべら・べらべら・べちゃくちや・ぶつぶつ・たらたら・くどくど・もごもご